

就学前教育・保育施設再編整備計画（素案）の修正に関する 基本的方向（案）について

1 現在及び来年度の就園児に対する卒園を保障すること

（※来年度入園説明会実施にあたり，来年度の入園児は卒園保障を公表している。）

【修正理由】

○就園児の途中転園に伴う園児及び保護者の不安や精神的負担を解消するため。

【意見】

- ・在園児が卒園するまで施設を継続してもらいたい。
- ・慣れ親しんだ園から新しい園に転園することは子供も保護者も負担が大きい。
- ・入園時に何も説明なく，統廃合するのは納得できない。 など

2 中央エリアの公立施設を1園（富岡幼）のみから，笠岡幼稚園もこども園化し， 公立施設を2園とすること

【修正理由】

○第7次総合計画における駅周辺の再開発等の施策実施による駅周辺の活性化を促進すると共に，統廃合により周辺からの就園需要が高まる予測の中で，民間施設での受入れ状況と合わせて需要に対応するため。

【意見】

- ・駅前エリアに公立がなくなると定住促進の推進に相反することになる。
- ・西中学校区に公立がなくなってしまう。中学校区に公立を残してほしい。
- ・今井幼稚園と大井幼稚園を笠岡幼稚園に統合し，こども園としてはどうか。
- ・富岡幼稚園までは遠くなる。
- ・私立施設（まや保育園，笠岡認定こども園）は定員がいっぱいで，入園できない子供がでる可能性がある。 など

3 島嶼部エリアの受け入れ施設として，外浦保育所を存続し，認定こども園へ移行 すること

【修正理由】

○神島外小・中学校は特別区として，他学区（六島及び陸地部）の児童生徒を受け入れていることから今後も存続するため，保小中連携教育の実施が容易であること。また，島嶼部エリアの幼稚園等が休園・廃園されることに伴い，港からの立地を考慮する中で，受け入れ施設とするため。

【意見】

- ・ 島嶼部の施設を休園・廃園するのなら、外浦保育所が受け入れ施設となるのではないか。
- ・ 外浦保育所がなくなったら、島の人が通園する場合、笠岡港からどうやって通園するのか。 など

4 富岡幼稚園の認定こども園への移行を平成34年度にすること

【修正理由】

- 平成31～33年度に富岡幼稚園は、岡山県国公立幼稚園・こども園教育研究会の実施園として指定を受けており、平成33年度において実施会場となるため。

5 全体的に再編スケジュールを先に延ばすこと

【修正理由】

- 平成32年度から再編が始まり、4年間で統廃合・こども園化すること、卒園ができない子供や途中転園となる子供が生じること、こども園の内容が実感できないことなど、保護者等の不安や不満が多いことから、神島での認定こども園での実績に基づき、不安を解消すると共に、こども園への移行の理解を促進するため。また、市民が冷静に子供が減少している状況を実感し、施設の再編とこども園化を考え、理解を深める期間を確保・提供するため。

【意見】

- ・ 計画が突然だ。進め方が性急すぎる。
- ・ 保護者や地域、現場の先生の意見をよく聞いて進めてほしい。
- ・ 在園児が卒園するまで施設を継続してもらいたい。
- ・ 慣れ親しんだ園から新しい園に転園することは子供も保護者も負担が大きい。
- ・ 入園時に何も説明なく、統廃合するのは納得できない。
- ・ こども園で、これまでのような幼稚園教育ができるのか。
- ・ 幼稚園を残してほしい。幼稚園教育がなくなってしまう。
- ・ 保育所の子供と幼稚園の子供を一緒にしてうまくいくのか不安だ。
- ・ 神島でのこども園をモデルとして実施して、メリット・デメリットを把握してから、順次再編していくべきだ。 など

6 その他